

郵便
報知新聞
 第六百九号

大坂北大組相生町倉谷利兵五方
 去る明治二年持込器強盗ありけ
 幼年の碎元吉のう、恐怖一々
 大病とあり夫、全快ハ一ても
 啗唾とちりさうに物言ふと叶ハね
 父の利兵エち、打敷き案、
 煩ひ、今年四月十六日の夜六時
 氣病とせ、相果さう然るは不思
 議なるハ碎元吉を夜八時頃、
 七年ふり、故、ふりのつひ出
 公家内、一回、あ、ろき又、
 てこれ全く父の利兵エカ神仏へ
 死誓の、を、効驗、とんと、
 何々

松林伯圓記



錦堂

彫工銀

松林伯圓